

平成 29 年度事業報告

基本理念「共につながり支え合い安心して暮らせるまち」

◆平成 29 年度事業概要～新規事業等の取組み

1 地域で安心して暮らせる環境づくり

■社協の運営・組織の体制整備

(1) 地域福祉活動計画の策定

平成 31 年度から 10 か年計画で事業計画の柱となる地域福祉活動計画を、町の地域福祉計画と合同で策定に取り掛かりました。29 年度は住民アンケート、関係福祉団体・機関へのアンケート、住民懇談会を通して広く意見を集めました。30 年度はこの計画を地域住民や関係団体が「我が事」として参画し、「丸ごと」の地域づくりを進めていくことを位置づけた計画を策定します。

(2) 法人化 50 周年記念福祉大会の開催

昭和 42 年に法人格を取得し、50 年にわたり大和町における地域福祉の総合的かつ中心的福祉団体として、住民のニーズや実情に合わせながら事業を展開して参りました。多年にわたり社会福祉の発展に寄与された方々を顕彰し、感謝の意を表すことを目的として記念式典、記念講演の福祉大会を開催しました。

また記念福祉大会開催にあわせ、イメージキャラクターの募集を行い応募作品 122 点から 4 作品を理事会で選出し、福祉大会当日の来場者による投票の中から 1 作品を最優秀作品として決定しました。

■障害者の自立促進と社会参加の促進

(1) 障害者相談支援事業の実施

障害者の自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援するため、平成 29 年 1 月に「大和町社会福祉協議会相談支援事業所スケッチ」を開設。利用者の心身の状況、環境に応じて利用者の選択に基づき多様な事業者から、総合的かつ効率的にサービスが提供されるよう配慮して行いました。サービス等利用計画の作成のほか 4 月からは、町の委託を受け基本相談事業を実施しました。

2 多様な福祉サービスの仕組みづくり

(1) 生活支援体制整備事業の実施

介護保険法改正により地域包括ケアシステム構築の推進が示され、29 年度より生活支援コーディネーター業務を町より受託し、専任職員 1 名を配置しました。関係福祉団体の事業や行政区の生き生きサロン、地域包括支援センターの出前講座などに参加し、事業の周知に努めました。また県のモデル事業を受け、町保健福祉課と合同で住民研修会を開催し、その中から「地域のお宝」について発表会を行いました。

◆事業活動の内容

基本方針①地域で安心して安全に暮らせる環境づくり

- 実施計画 1 人にやさしいまちづくりの推進
- 2 権利擁護の推進
 - 3 地域ぐるみの防災・防犯活動の推進
 - 4 障害者の自立促進と社会参加の促進
 - 5 社協の運営・組織の体制整備

実施事業①社協だより、ウェブサイトを活用し情報を発信する

広報誌「たいわ社協だより」を年に4回発行。町内の関係福祉団体、施設の情報を広く発信しました。

発行月	4月・7月・10月・1月
発行部数	各10,900部（合計43,600部）
送付先	毎戸（区長配達依頼）、特別会員、町内関係福祉施設 県内市町村社協
編集委員会	5月15日・8月8日・11月22日・2月14日

発行事業費 1,092 千円

実施事業②民児協作成の災害時要援護者マップの活用

要援護者への安否確認や避難情報の声掛け等に活用するため、民生委員児童委員が要援護者台帳及びマップを更新。2月5日台帳及びマップ1部を大和町長へ引き渡しました。

一人暮らし高齢者	307 世帯	一人親世帯	13 世帯
二人暮らし高齢者	175 世帯	障害児者	51 世帯
要介護者	130 世帯	その他の支援世帯	53 世帯
日中一人暮らし高齢者	171 世帯	合計	900 世帯

実施事業③日常生活自立支援事業（まもり一歩）の実施

認知症高齢者や知的障害者、精神障害者等を対象に日常的な金銭管理、福祉サービス利用の助言などを実施しました。

年度末利用者数	認知症高齢者 1 名	知的障害者 2 名	前年度比（±0 名）
相談受付件数	認知症高齢者 1 名	知的障害者 1 名	前年度比（+2 名）
	その他 1 名		

生活支援員数	3名	前年度比（±0名）
生活支援員との同行	52回	前年度比（+42回）
保管内容	通帳5冊 印鑑3本	前年度比（±0）

事業費：県社協委託料 33 千円

実施事業④災害ボランティアセンター研修会の開催

平成 27 年関東・東北豪雨水害において大和町災害ボランティアセンターが行った活動を振り返り、災害ボランティアセンターの機能、運営、役割や平時から地域づくりに繋げることについて、区長・民生委員児童委員・ボランティアなど災害ボランティアセンターの運営に関心のある方と理解を深めました。

日 時	平成 30 年 3 月 7 日（水）13：30～15：30
会 場	町民研修センター大集会室
参加者	71 名
講 師	ウェザーハート災害福祉事務所代表 千川原 公彦 氏 みやぎボランティア総合センター所長 大和田 学 氏
内 容	講義：災害ボランティアセンターの役割とは 演習：災害ボランティアセンターの目的と仕組み

事業費：県社協補助金 80 千円

実施事業⑤地域活動支援センターの運営

軽作業を中心とした障害者の自立促進と社会参加の機会の提供を図り、週 4 日開所。

年度末登録者数	19 名(精神 17 名／知的 1 名／その他 1 名)	前年度比（+2 名）
指導員数	4 名（うち看護職員 1 名）	前年度比（±0 名）
延べ開所日数	194 日	前年度比（+4 日）
延べ通所人数	1,458 名	前年度比（-11 名）
主な活動内容	箸入れ作業、生活訓練、調理実習、作品づくり、季節の行事	

事業費：町委託料：6,593 千円

実施事業⑥工房ななつもり支援事業「カフェななつもり」の実施

地域活動支援センター利用者の支援、登録外者との交流・見学の機会として実施しました。

実施回数	22 回（第 1 第 3 水曜日午前）	前年度比（-1 回）
延べ参加人数	工房ななつもり登録者 49 名 登録外者 25 名	前年度比（-10 名） 前年度比（+2 名）
主な活動	作品づくり／書道（ボランティア）／茶道（ボランティア）	

実施事業⑦障害者相談支援事業の実施

利用者の意思を尊重し、自立した日常生活を営むことができるよう計画相談支援の提供に努めた。あわせて計画相談支援に至る前の基本相談支援の提供もあわせて行いました。

【計画相談支援実績】

計画相談支援 10 件	障害児相談支援 1 件
計画相談支援継続 9 件	障害児相談支援継続 1 件

サービス利用計画費収入：302 千円

【基本相談支援実績】

新規件数：障害者 16 件 延べ件数：障害者 50 件	身体 5／知的 2／精神 8／その他 1 身体 7／知的 6／精神 36／その他 1
新規件数：障害児 0 件 延べ件数：障害児 0 件	
対応形態	訪問 17／来所 81／同行 2／電話 91／個別支援 1 関係機関 99／その他 3 合計 294
相談内容（重複あり）	福祉サービスの利用 20／障害や病状の理解／31 健康・医療 43／不安の解消・情緒安定 123 家族、人間関係 48／家計、経済 78／生活技術 26 就労 14／社会参加、余暇活動 23／権利擁護 3 その他 48

事業費町委託料：132 千円

実施事業⑧地域福祉活動計画の策定

町の地域福祉計画と合同で策定委員会を立ち上げ、住民や関係機関等へのアンケート調査及び地域住民懇談会を開催しました。

策定委員会の開催	1 回目：平成 29 年 10 月 3 日（火） 2 回目：平成 30 年 3 月 20 日（火）
策定委員構成	区長会／民生委員児童委員／シルバー人材センター ボランティア友の会／保健推進委員／老人クラブ 身障協会／子育てサロン、協議会／職業安定所 社会福祉法人／宮城県／宮城県社協／宮城大学
住民アンケート対象	20 歳以上の男女 2,000 人
調査期間	平成 29 年 12 月 1 日～平成 29 年 12 月 18 日
調査方法	郵送配布・郵送回収
回収結果	有効回収数 788 件（回収率 39.4%）
関係機関、団体アンケート	福祉事業所、団体、自主活動グループ等 100 件
調査期間	平成 30 年 1 月 24 日～平成 30 年 2 月 7 日

調査方法	郵送配布・郵送回収
回収結果	有効回収数 61 件（回収率 61%）
住民懇談会	3/5 鶴巣防災センター33 名 3/8 宮床基幹集落センター18 名 3/9 まほろばホール 37 名 3/9 落合ふるさとセンター23 名 3/15 南部コミュニティセンター18 名 3/15 吉田コミュニティセンター27 名
事務局打合せ	6/19 スケジュールの確認 7/27 策定委員会について 10/31 住民アンケートについて 12/25 関係機関・団体へのアンケートについて 2/8 地区懇談会について

事業費：38 千円

実施事業⑨：法人化 50 周年記念福祉大会の実施

昭和 42 年（1967 年）3 月 28 日設立、4 月 11 日法人登記から 50 年の節目にあたり、過去 10 年ごとに行ってきた記念福祉大会を開催しました。

事業の名称	大和町社会福祉協議会法人化 50 年記念大会
実施月日	平成 29 年 11 月 10 日（金）
会場	大和町ふれあい文化創造センター大ホール
事業の概要	<p>第一部記念式典</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受賞者 表彰状贈呈 64 名 11 団体 <ul style="list-style-type: none"> 区長 24 名／民生委員児童委員 17 名 ボランティア・老人クラブ 16 名 11 団体 社協理事・評議員 6 名 特別表彰（澁谷前会長）1 名 感謝状贈呈 64 名 77 団体 <ul style="list-style-type: none"> 区長 32 名／民生委員児童委員 16 名 ボランティア・老人クラブ 11 名 2 団体 社協理事・評議員 5 名 特別会員 52 団体／寄付・善意 15 団体 H27 豪雨水害災害 V C 協力団体 8 団体 <p>第二部記念講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演、パフォーマンス 「人やまちが輝くために～感動がまちをつくるまで」

事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 講師 プランニング代表取締役 新田新一郎氏 パフォーマー まいてい・ノーム氏
参加人数	<ul style="list-style-type: none"> 受賞者 92名 52団体 来賓 23名／一般来場者 143名／ボランティア 19名 民生委員児童委員 7名／講師、司会 3名 大会役員・職員 17名 合計 304名 52団体

事業費：726千円

基本方針②つながりの意識づくりと参加のきっかけづくり

- 実施計画 1 福祉の心の育成
 2 地域交流の場の拡充
 3 地域を支える担い手の育成支援

実施事業①福祉教育事業の実施（夏休み体験講座等）

小学生親子を対象に、盲導犬と共に生活をしているユーザーの講話と日本盲導犬協会仙台訓練センターのPR犬との歩行訓練を通して、盲導犬への正しい理解を深めました。

実施月日	平成 29 年 7 月 27 日（木）
会場	南部コミュニティセンター
参加者	小学生親子 30 組 60 名
講師	佐藤修氏 阿部まり氏 日本盲導犬協会仙台訓練センター 齋藤彩芽氏

夏休み福祉体験学習の依頼を受け、落合児童館を会場に出前講座を開催しました。

実施月日	平成 29 年 8 月 28 日（月）
内容等	手話体験、点字体験学習 26 名参加

実施事業②傾聴ボランティア養成講座の開催

相手の心に寄り添い、話をありのままに受け止めて聴く「傾聴」の基本的知識や技術を身に付けるため養成講座を開催しました。

実施月日	平成 29 年 7 月 6 日・13 日・20 日 木曜日 3 週
講師・内容	仙台傾聴の会 代表 森山英子氏 講義とロールプレイング～12 時間

受講人数	※平成 27 年度 14 名 ※平成 28 年度 17 名 平成 29 年度 20 名
その他	養成講座修了者 22 名が「大和傾聴の会よりそい」を立ち上げ、特別養護老人ホームやデイサービスで活動しました。 ・まほろばの里たいわ 延べ 72 名 ・ひだまりの丘デイサービス 延べ 39 名 ・グループホームすずらん 延べ 18 名 合計延べ 129 名

実施事業③子育てサロン「きらきら」・おもちゃ病院「ひまわり」の支援

平成 19 年度～21 年度に子育てサポーター養成講座を、平成 21 年度と 24 年度におもちゃドクター養成講座を開催し、それぞれの修了者で作る自主グループの活動を支援しました。

歳末たすけあい運動 募金配分の実施	配分委員会で活動助成金の配分を決定 子育てサロンきらきら 50,000 円 おもちゃ病院ひまわり 50,000 円
----------------------	-----------------------------------------------------------------

実施事業④手話サークル「ももたろう」の支援

平成 24 年度から 27 年度まで開催した手話初級講座修了者でつくるサークル活動のフォローアップを行いました。

事業の開催数	年 21 回（毎月第 2・4 月曜日）
内容	町内在住の聴覚障害者、手話通訳者、健聴者等が会員となり初心者向けのテキスト DVD を使用しお茶を飲み交流しながら、一歩ずつ手話を学んでいます。 延べ 150 人参加

実施事業⑤まほろば夏まつり等地域行事への参加・協力

まほろば夏まつりのチャリティかき氷を実施しました。売上金は災害義援金として送金しました。

実施月日	平成 29 年 8 月 6 日（日）
内容	チャリティかき氷 100 円/1 杯 民生委員児童委員が中心に 1,341 杯を売上 秋田県大雨災害義援金として秋田県共同募金会へ送金

実施事業⑥となりぐみ活き生きサロンの支援

となりぐみ活き生きサロンの活動を支援するためボランティア保険の加入手続き、ゲーム等の貸出などを行いました。

貸出用レクリエーション用具体験会の実施	平成 29 年 6 月 29 日（木） 参加人数 83 名
---------------------	----------------------------------

実施事業⑦福祉団体の活動支援（事務局）、施設との協働事業の開催

団体事務局 団体の運営 事業の開催 会計処理	大和町民生委員児童委員協議会 大和町老人クラブ連合会 大和町ボランティア友の会 大和町遺族会（大和町遺族会吉岡支部含む） 大和町身体障害者福祉協会
施設との協働事業の開催	平成 29 年度実績なし

基本方針③互いに支えあうつながりづくり

実施計画 1 地域福祉のネットワークの構築

- 2 地域での支えあい活動の推進
- 3 ボランティア活動の推進
- 4 生きがいつくりと心身の健康づくりの推進

実施事業①ひとり暮らし高齢者お茶飲み会「ひなたぼっこの会」の支援

ひだまりの丘を会場に月 1 回一人暮らし高齢者等を対象にしたお茶飲み会を実施しました。実施にあたっては吉岡地区ボランティア友の会の協力をいただき、お話や歌を中心に行いました。

年間延べ参加者	対象者 74 名／ボランティア 49 名
---------	----------------------

実施事業②震災避難者交流会「ひまわりの会」の支援

東日本大震災の避難者交流会の支援を平成 23 年度より実施。情報交換や転入者の相談支援等を行いました。平成 30 年 4 月で会は解散し今後は対象者の有志でお茶飲みサロンを開催します。

年間延べ参加者	対象者 121 名／ボランティア 53 名
---------	-----------------------

実施事業③配食サービスの実施

ひとり暮らし高齢者等を対象にした配食サービスを週 3 回実施。安否確認を兼ねて昼食弁当をお届けしました。

年間(延べ)件数	実施回数 : 143 回 利用者人数 : 61 名 配食数 : 3,633 食	前年度比 : -1 回 前年度比 : +13 名 前年度比 : +219 食
献立会議の開催	平成 29 年 9 月 6 日 (29 年度下半期分) 平成 30 年 3 月 7 日 (30 年度上半期分)	
従事ボランティア交流研修会	平成 30 年 1 月 30 日 内 容 ①食中毒の予防について (塩釜保健所) ②情報交換 参加者 34 名	

事業費 : 町委託料 2,361 千円

実施事業④ひとり暮らし高齢者への災害時非常持出し袋の配布

災害時の避難用持ち出し袋をひとり暮らし高齢者へ配布。対象者の調査は民生委員児童委員が行い、緊急連絡先を記入する連絡カードとあわせて平時からの備えに活用してもらいました。

平成 29 年度配布数	45 セット
-------------	--------

事業費 : 歳末配分 113 千円

実施事業⑤軽度生活援助事業の実施

高齢者生活支援生きがい健康づくり事業 (町委託事業) で掃除等の家事援助を実施。登録ヘルパーを派遣しました。

利用登録者数 : 4 名	前年度比 +1 名
利用者数 : 2 名	前年度比 - 1 名
実施延べ日数・時間 : 8 日・15 時間	前年度比 - 3 日・ - 13 時間
登録ヘルパー数 : 2 名	前年度比 ±0 名
清掃 (室内、台所流し台、トイレ) 窓拭き (内、外、戸棚ガラス、物置小屋) その他 (階段、畳、押し入れ、サッシの雑巾がけ)	

事業費 : 町委託料 16 千円

実施事業⑥赤い羽根共同募金（歳末たすけあい運動）の実施

10月～12月にかけて共同募金運動を実施しました。29年度は町内会配分事業としてテント6基を配分しました。

赤い羽根共同募金実績	2,234,285円（戸別募金）前年度比：－31,678円
歳末たすけあい運動実績	2,368,515円（戸別募金）前年度比：－41,507円 223,977円（個人・団体）前年度比：－14,199円 計 2,592,492円 前年度比：－55,706円
テント配分【町内会配分】 申請 23 行政区	6/7 に抽選会を行い 8/31 に次の行政区へ配分 ①杜の丘二丁目 ②報恩寺 ③舞野 ④柴崎 ⑤吉岡まほろば二丁目 ⑥反町上

基本方針④多様な福祉サービスの仕組みづくり

実施計画 1 地域ケアシステムの確立とサービスの質の向上
2 適切な情報提供・相談事業

実施事業①生活相談所の開設

困りごと・生活相談所を町の人権相談／行政相談に併設して開設しました。

開設日数等	12日（毎月第二木曜日）10：00～15：00 役場 101 会議室
相談者数・件数	22人・40件 前年度比：+13人・+21件 主な内容：年金、家族、住宅（近隣トラブル含む）、事故
相談員	6名（行政書士2名・民生委員児童委員3名・保健師1名）

実施事業②生活安定資金・福祉資金の貸付

一時的な小口資金として生活安定資金の貸付を行いました。県社協の生活福祉資金の申請から償還事務の一部を委託事業として実施しました。

生活安定資金の貸付	申請 20件 680,000円 前年度比：－13件－299,000円 貸付 19件 617,000円 前年度比：－14件－307,000円 償還 52件 402,000円 前年度比：－8件－290,000円
生活福祉資金の貸付	0件 前年度比：－3件
相談件数	75件（生活安定資金/福祉資金）

実施事業③緊急用食料等支援事業の実施

貸付資金と組み合わせて緊急時の生活支援を実施しました。米、レトルト食品から利用者の生活状況に応じて弁当やパンを数日に分けて提供しました。(民生委員児童委員・保健福祉課・包括支援センター・南部自立支援センターと連携)

利用者・支援回数	12人11回	前年度比：+3人+3回
----------	--------	-------------

事業費：33千円 +歳末配分：125千円

実施事業④住民ニーズにあわせた新規事業の検討

世代間交流事業～男性の社会参加の機会、地域へのつながりづくりについて30年度事業として調整を行います。

実施事業⑤生活支援体制整備事業の実施

生活支援コーディネーターを配置し、地域資源の把握や発掘に努めました。また県のモデル事業を受け、町保健福祉課と合同で住民研修会を開催し、その中から「地域のお宝」について発表会を行いました。

地域訪問	174回	生き生きサロン 39回
会議等	60回	関係福祉団体(老連、民生委員、V友の会など)の行事参加。郡内社協生活支援C o会議への参加。
研修等	35回	生活支援C o養成研修、郡内社協研修への参加。
その他	60回	相談・打合せ、資料作成・法人業務。
地域資源の発掘	204回	地域の活動、行事に出向き、地域・文化に触れた。
ネットワーク構築	205回	関係団体との連携を深めネットワークの構築に努めた。
見える化、地域課題の提起	22回	包括支援センターとの出前講座を実施し、地域の見える化を行った。
多様な主体への協力依頼	201回	地域活動の紹介や、研修会への協力を依頼した。
サービスへのつなぎ	9回	サロンの情報提供や地域の方を民生委員児童委員へ繋いだ。
担い手の養成	107回	地域の役員会や高齢者支え合い研修会を通し、担い手の養成を行った。
地域の支え合いづくりの推進	168回	他地区の活動紹介など、情報提供や活動へのアドバイスを行った。
協議体への準備協力	9回	高齢者支え合い研修会などを通して、必要に応じて協議体に参加し情報の共有を図った。

【高齢者ささえあい研修会】

8月29日	区長向け説明会	研修センター 29名
10月4日	住民研修会① 午前：吉田・鶴巣・落合 午後：吉岡・宮床	まほろばホール 午前：52名 午後：62名
10月30日	住民研修会② 午前：吉田・鶴巣・落合 午後：吉岡・宮床	まほろばホール 午前：52名 午後：52名
1月12日	おらほのお宝発表会 吉岡：志田町 宮床：もみじヶ丘二丁目 吉田：麓上 鶴巣：山田 落合：桧和田下	まほろばホール 450名

スタッフ打合せ：7月18日／7月26日／7月31日／8月17日／9月28日

10月24日／12月14日

プロジェクト会議：8月18日／12月14日／3月19日

その他

監査

法人指導監査（宮城県保健福祉部）	8月23日
町財政援助支援団体監査	11月14日
指定相談支援事業所実地指導	1月10日

大和町保健福祉総合センター管理業務

センターの監視監督	244日	浴室管理の監督	16件
使用申請の受付	196件	蛍光灯等消耗品の交換	1件
苦情・トラブルの対応	4件	防火訓練	1回
点検等の立会い・鍵の受渡	14件	その他	7件

事業費町委託料：240千円

映画「君の笑顔に会いたくて」大和町上映会

上映日/入場者数	平成30年3月17日(土) ①14:30 (625名) ②18:00 (158名) (合計：783名)
上映券販売数	前売券 1,067枚、当日券 27枚
実行委員団体	区長会、保護司会、更生保護女性会、雇用主会、PTA 民児協、婦人会、V友の会、青年団、文化振興協会
その他	実行委員準備会 12月4日／実行委員会 12月18日 試写会 1月16日